

令 和 8 年 度 着 手

團 体 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

若 狹 第 2 地 区 農 業 用 用 排 水 施 設 事 業

【 農 村 振 興 総 合 整 備 統 合 補 助 事 業 】

若 狹 町

## 目 次

第 1 章 目 的	1
第 2 章 地 域 及 び 地 積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第 3 章 現 況	1
第1節 気象及び海象	1
1 . 一般気象	1
2 . 特殊気象	2
3 . 海 象	2
第2節 土地状況	2
1 . 地形、土壤及び侵食の程度	2
2 . 土地分類	3
3 . 土地利用の状況	3
4 . 土地所有の状況	3
第3節 水利状況	4
1 . 用水状況	4
2 . 排水状況	7
3 . 河川状況	9
第4節 道路概況	10
1 . 道路概況	10
2 . 主要道路一覧表	11
第5節 地域農業の概況	11
1 . 産業別就業人口	11
2 . 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況	
並びに専兼業別農家数	11
3 . 動力農機具及び主要家畜頭数	11
4 . 主要作物作付け状況	12
5 . 農業の動向	12
第6節 地域環境の概況	12
第 4 章 一般計画	13
第1節 事業計画の要旨	13
1 . 要 旨	13
2 . 事業別面積	13

第2節 営農計画及び土地利用計画	13
1. 営農計画の概要	13
2. 土地利用区分	13
3. 作付方式	14
4. 生産計画	14
5. 労働改善計画	15
6. 級地別土地利用区分	15
7. 土地配分計画	15
第3節 用水計画	16
1. 計画基準年	16
2. 計画かんがい方式	16
3. 計画用水系統	16
4. 計画用水量	17
5. 水源計画	18
第4節 排水計画	19
1. 計画基準雨量	19
2. 計画排水方式	19
3. 計画排水系統	19
4. 計画排水量	20
5. 排水対策	20
6. たん水検討	20
第5節 道路計画	21
1. 道路及び索道	21
2. 路線配置図	21
第6節 農用地造成計画	22
1. 農用地造成計画	22
2. 土壤改良	22
第7節 洪水調節計画	22
1. 計画基準雨量	22
2. 計画洪水量及び調節量	22
3. 貯水池	22
4. 洪水調節検討	23
5. 管理計画	23
第8節 干拓計画	23
第9節 農用地整備計画	24
1. 区画整理	24
2. 暗渠排水	25
3. 客土	25
4. 農地保全	25

第10節 老朽ため池改修計画	26
1. 洪水吐改修計画	26
2. 堤体補強計画	26
3. 取水施設改修計画	26
第 5 章 主要工事計画	27
第1節 用水施設	27
1. 貯水池	27
2. 頭首工	27
3. 揚水機	27
4. 用水路	27
5. その他かんがい施設	27
第2節 排水施設	28
1. 排水水門	28
2. 排水機	28
3. 排水路	28
4. その他排水施設	28
第3節 道路及び索道	29
1. 道路	29
2. 索道	29
第4節 農用地造成	29
1. 農用地造成	29
2. 土壌改良	30
第5節 洪水調節施設	31
1. 貯水池	31
2. 頭首工及び導水路	31
第6節 干拓施設	31
1. 堤防	31
2. 潮止め	31
3. 付属施設	31
4. 埋立	32
第7節 農用地整備施設	32
1. 区画整理	32
2. 暗渠排水	32
3. 客土	33
4. 除磧	33
5. 農地保全	33

第 8 節 老朽ため池改修施設	34
1.貯水池	34
2.堤体補強施設	34
第 6 章 附帯工事計画	34
第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期	34
第 8 章 環境との調和への配慮	34
第 9 章 換地計画の概要	35
第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	35
第 2 節 換地区の設定	35
1.換地区的名称、所在、面積	35
2.換地区を設定する理由	35
第 3 節 換地計画樹立の基本方針	35
1.従前の土地の地積の基準	35
2.用途別予定地積	36
3.農用地集団化の方針	37
4.非農用地の換方法	37
第 4 節 土地の評価及び清算の方法	37
1.評価の方法	37
2.清算の方法	37
第 5 節 換地計画樹立の年度計画	37
第 6 節 換地処分の時期に関する特則	38
第 10 章 事業費の総額及び内訳	39
第 11 章 効用	40
第 12 章 関連する事業	40
第 13 章 現況・計画図面	40

## 第 1 章 目 的

本地区では昭和42年～昭和48年に県営ほ場整備事業 瓜生地区、昭和59年～平成10年に県営ほ場整備事業 若狭鳥羽地区で整備されたが、整備後20年以上が経過し、水路等施設の老朽化が著しく、維持管理費が増大している状況である。

よって、本事業により用水、排水施設を更新することで維持管理の軽減、水田の汎用化および作業の効率化により安定を図る。

## 第 2 章 地域及び地積

### 第 1 節 地 域

(第 1 表)

事 業 名	地 域
農業用用排水施設	若狭町：下吉田、三生野 地係

### 第 2 節 地 積

令和7年11月現在

(第 2 表)

事 業 名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畠 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農業用用排水	若狭町	66.2	—	—	—	—	66.2	
計		66.2	—	—	—	—	66.2	

## 第 3 章 現 態

### 第 1 節 気象及び海象

#### 1. 一般気象

(第 3 表-1)

観測所名	小浜観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H23年～R2年	5月～9月	10月～4月		
平均 気 温 (°C)		23.4	9.1	15.1	
降 水 量	平均 (mm)	186	176	181	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降 水 日 数	平均 (日)	11	16	14	
	基準年 (日)	—	—	—	
根 雪 期 間		12月～3月	25日間		
無 霜 期 間		4月～11月	—日間		
最 多 風 向	ESE (東南東)	最大風速	m/s	21.6	

## 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 小浜観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	観測期間 H3年～R2年	数量 年月日	発生確率	数量 年月日	発生確率	数量 年月日	発生確率	数量 年月日	発生確率	数量 年月日	発生確率	数量 年月日	発生確率	数量 年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	254	H25.9.16	1/59	232	H16.10.20	1/38	168	H23.7.30	1/10	152	H7.5.12	1/7	148	H2.9.19	1/6	
最大時間雨量 (mm)	66	H30.8.24	1/76	53	H16.9.24	1/14	52	H28.7.7	1/12	51	H11.8.15	1/11	47	H24.8.13	1/7	
最大4時間雨量 (mm)								記録なし								
最大連続雨量 (mm)	414	H25.9.15 ～H25.9.16	1/57	315	H23.5.26 ～H23.6.2	1/16	304	H7.5.11 ～H7.5.17	1/16	279	H18.7.15 ～H18.7.19	1/11	279	H29.10.22 ～H29.10.23	1/11	
最大連続干天日数 (日)	30	H18.7.30 ～H18.8.28	1/52	26	H12.8.16 ～H12.9.9	1/13	25	H2.8.18 ～H2.9.11	1/9	24	H8.7.21 ～H8.8.13	1/9	23	H24.5.16 ～H24.6.7	1/7	

## 3. 海象

(第3表-3)

観測所名 観測期間 年～年	既往最高 潮位	さく望平均 満潮位	上下弦平均 満潮位	平均潮位	上下弦平均 均干潮位	さく望平均 干潮位	既往最低 潮位	備考		
	該当事項なし									
実測値										

## 第2節 土地状況

## 1. 地形、土壤及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畠・その他						受益地標高 (m)		備考	
		傾斜区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8°～15°	15°～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
農業用 排水施設	面積 (ha)	—	66.2	—	—	—	—	66.2	—	—	—	—	—	—	64.0	39.0	
	比率 (%)	—	100.0	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	面積 (ha)																
	比率 (%)																
計	面積 (ha)	—	66.2	—	—	—	—	66.2	—	—	—	—	—	—	—	—	
	比率 (%)	—	100.0	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	

(第4表-1-2)

土壤統(区)名	土壤区分一覧表										面積(ha)			備考		
	土壤断面										事業名					
	色	腐植	レキ層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層及びグライ層	堆積様式	母材	農業用排水路施設					
					表土	下層	土									
D32	Y/G	無	無	無	CL	C	C	無	沖積世	非固結水成岩	42.4			42.4		
D33	Y/G	無	無	無	CL	CL	CL	無	沖積世	非固結水成岩	23.8			23.8		
計											66.2			66.2		

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壤の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食程		備考
		0%	0%～25%	25%～50%	50%以上	0mm	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度 のもの	天なる もの	
	面積 (ha)				該当事項なし							
	比率 (%)											

## 2. 土地分類

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農用地造成										計 (ha)	備考		
	一級地	二級地				三級地				四級地				
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)			
					該当事項		なし						※は傾斜以外の要因によるもの	

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干拓					備考
	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
			該当事項	なし		

## 3. 土地利用の状況

令和7年11月現在

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他の (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	そ樹の園他地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業用排水施設	若狭町	66.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.2	
合計		66.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.2	

## 4. 土地所有の状況

令和7年11月現在

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	民有地	国有地	県有地	市町村	土地改良区	計	備考
		面積 (ha)	—	—	—	—	66.2	
農業用排水施設	受益者数 (人)	52	—	—	—	—	52	
	筆数 (筆)	578	—	—	—	—	578	
	権利関係	52	—	—	—	—	52	
	備考 (関係戸数)	—	—	—	—	—	—	
	面積 (ha)							
合計	受益者数 (人)							
	筆数 (筆)							
	権利関係							
	備考 (関係戸数)							
	面積 (ha)	66.2	—	—	—	—	66.2	
	受益者数 (人)	52	—	—	—	—	52	
	筆数 (筆)	578	—	—	—	—	578	
	権利関係	52	—	—	—	—	52	
	備考 (関係戸数)	—	—	—	—	—	—	

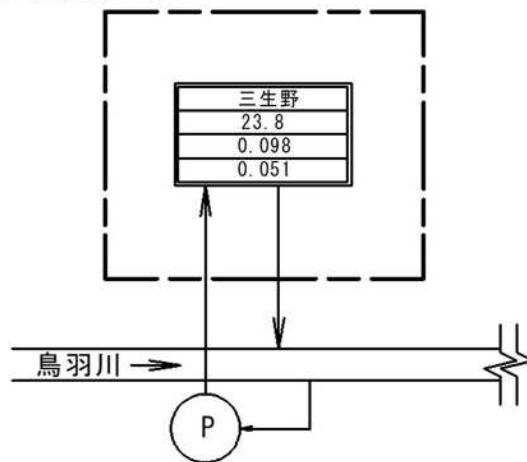
### 第3節 水利状況

#### 1. 用水状況

本地区の用水は、一級河川 烏羽川の水を取水し、パイプラインによって地区内を灌漑している。  
しかし、現施設は、整備後20年以上経過していることから、経年劣化により、施設の機能低下が著しく、農地の灌漑に支障を来たしている。

##### (1) 用水系統

【事業範囲】若狭第2地区



凡例

(イ) 地区内	(イ) 統系名
(ロ) 受益面積 (ha)	(ロ)
代播期	(ハ)
普通期	(ニ)
(ホ)	(ホ)
代播期必要水量 (m³/s)	(ハ)
普通期必要水量 (m³/s)	(ニ)
流域面積 (ha)	(ハ)
代播期利用可能量 (m³/s)	(ニ)
普通期利用可能量 (m³/s)	(ト)

(2) 用水施設  
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	施設名	かんがい面積						計	許可水利権	その他	延べ取水量	備考					
		500ha以上		50~100ha		50ha未満											
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha										
農業用排水施設	貯水池																
	井 壤																
	自然取入口																
	揚水機			1	23.8	1	23.8	1	0.098	—	—	0.098					
	その他																
	計			1	23.8	1	23.8	1	0.098	—	—	0.098					
合 計				1	23.8	1	23.8	1	0.098	—	—	0.098					

(イ) 改修をする施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は更新年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
農業用排水施設	貯水池							
	井 壤							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	1	23.8	水管橋	φ350	S59~H10	老朽化及びゴミ等の流入による維持管理費増大	
	その他							
	計	1	23.8					
合 計		1	23.8					

## (3) 用水に関する被害状況

## (ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名 系統名	項目	かんがい 面 積 (ha)	現 態 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不 足 水 量				平 均 減 産 量		備 考	
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		平均(千m <sup>3</sup> )	基準年(千m <sup>3</sup> )		
				平均(m <sup>3</sup> /s)	基準年(m <sup>3</sup> /s)	平均(千m <sup>3</sup> )	基準年(千m <sup>3</sup> )				
				該 当 事 項 な し							
	計										
合 計											

## (イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時 期 別	かんがい 面 積(ha)	水 温 (°C)		水 質	被 害 量(t)	備 考
			最 高	最 低			
			該 当 事 項 な し				

## (4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

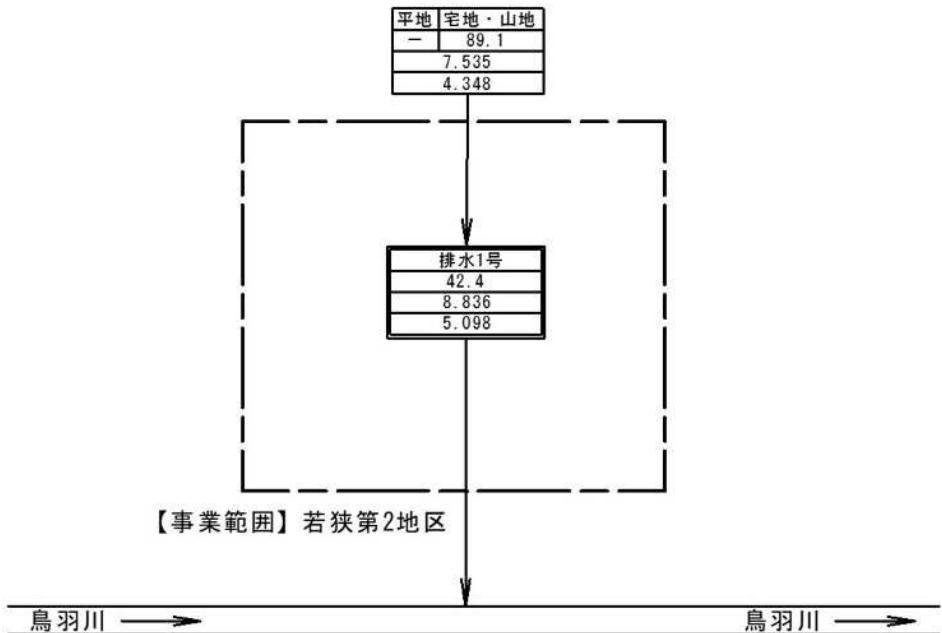
事 業 名	想 定 被 害 面 積 (ha)					想 定 被 害 額 (百万円)						備 考
	田	畑	その他の 面積	計	作 物	農 地	農業用 施 設	公 共 施 設	家 屋 その他の 施 設	計		
					該 当 事 項 な し							
合計												

## 2. 排水状況

### (1) 排水系統

本地区の排水路は、アーム柵渠・積ブロックで整備されているが、整備後25年以上経過していることから、経年変化に伴う老朽化による損傷・破損・欠損等の劣化・変状が見られる状況であり、施設及び水管理に多大な労力を費やしている状況である。

本地区の排水系統は、支線排水路の水が本排水路を経て、1級河川 烏羽川に排水されている。



凡 例	
地区内	(イ) 系統名
(イ)	(ロ) 流域面積 (ha)
(ロ)	(ハ) 洪水時流量 (m <sup>3</sup> /s)
(ハ)	(ニ) 平水時流量 (m <sup>3</sup> /s)
(ニ)	
地区外	
平地	(イ) 流域面積 (ha)
(イ)	(ロ) 洪水時流量 (m <sup>3</sup> /s)
(ロ)	(ハ) 平水時流量 (m <sup>3</sup> /s)
(ハ)	
(イ)	
(ロ)	(イ) 流域面積 (ha)
(ハ)	(ロ) 洪水時流量 (m <sup>3</sup> /s)
(ニ)	(ハ) 平水時流量 (m <sup>3</sup> /s)

## (2) 排水施設

## (ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	施設名	項目		排水面積				計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考			
		500ha以上		100~500ha		100ha未満		計							
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha						
農業用排水施設	自然	排水路			1	42.4		1	42.4	8.836	8.836				
		水門													
	機械	排水機													
		水門及び排水機													
		排水路及び排水機													
	計				1	42.4		1	42.4	8.836	8.836				
	合計				1	42.4		1	42.4	8.836	8.836				

## (イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	施設名	項目		受益面積 (ha)	構造	規模			新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
		箇所	数			1200×1500	1600×2600	S59～H10			
農業用排水施設	自然	排水路	1	42.4	アーム柵渠 積ブロック	1200×1500 1600×2600		S59～H10	施設の老朽化		
		水門									
	機械	排水機									
		水門及び排水機									
		排水路及び排水機									
	計		1	42.4							
	合計		1	42.4							

## (3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況(ha)			平均減産量		備考	
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田 乾	畠 湿	その他 乾 湿	作物名	減産量 (t)		
				平均	基準年									
				平均		被 害 な し								
				基準年										
				平均										
				基準年										
計														
合計														

## 3. 河川状況

## (1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量	既往最大洪水量 (m³/s)	備考
		該当事項		なし		

## (2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額	該当事項		なし		

第 4 節 道路概況

1. 道路概況

該 当 事 項 な し

## 2. 主要道路一覽表

(第 6 表)

## 第5節 地域農業の概況

### 1. 産業別就業人口

令和2年国勢調査

(第7表-1)

項目	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気 ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不動産業	サービス業	公務	その他	昭和24年労働調査		(第7表 1)
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(第7表 1)
若狭町	7,329	593	18	53	55	742	1,192	142	271	831	99	40	2,999	344	-	国勢調査		
計	7,329	593	18	53	55	742	1,192	142	271	831	99	40	2,999	344	-			
比率 (%)	100.0	8.2	0.2	0.7	0.8	10.1	16.3	1.9	3.7	11.3	1.4	0.5	40.9	4.7	-			

## 2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

農林業センサス 令和2年度 (第7表-2)

### 3. 動力農機具及び主要家畜頭數

農林業センサス 令和2年度 (第7表-3)

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの ー:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

4. 主要作物作付け状況

農林水産統計年報 R7現在 (第7表-4)

市町村名		若狭町						計		平均		作付率	備考	
総耕地面積(ha)		2,060						2,060		2,060 <th data-kind="ghost"></th> <th data-kind="ghost"></th> <th data-kind="ghost"></th>				
総本地面積(ha)		1,630						1,630		1,630				
作物名		区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	(%)			
輪換田	表作	水稻	1,070	479						1,070	479	65.7		
		大麦	46	162						46	162	2.8		
		大豆	8	72						8	72	0.5		
普通畠	裏作													
		小計	1,124							1,124				
樹園地	表作													
		小計	—							—				
計		1,124								1,124				
市町村別 延べ作付率(%)		69.0								69.0				

5. 農業の動向

農林水産統計年報 R7現在 (第7表-5)

区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機 具名	B	A		
(C年を100とする指標)	総農家数	81	57	耕地	100	97	水稻	96	82	乳牛	X	X	田植機	77	—	若狭町 農業振興指定 指定 S45. 3. 31 認可 H20. 2. 5	A:令和2年 B:平成27年 C:平成22年
	専業農家	174	—	田	99	98	麦類	101	33	肉用牛	X	199	動力耕耘機	—	—		
	第一種兼業農家	38	—	畠	100	90	豆類	117	33	豚	—	—	トラクター	83	—		
	第二種兼業農家	80	67	樹園地	—	—				採卵鶏	X	X	バインダ	—	—		
	農業従事者数	74	—	草地	—	—							コンバイン	79	—		
変化の理由	担い手農家への農業経営のシフト			農地転用に伴う改廃			農地の汎用化に伴う転作面積の拡大			農業離れ			農業離れに伴う農機具所有台数の減				

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの　—:事実のないもの　…:調査を欠くもの　X:該当農家が2戸以下のもの)。

第6節 地域環境の概況

本地区は、若狭町の南側に位置し、一級河川 北川の右岸に広がる中間的地域であり、豊かな自然に囲まれた地区となっている。希少な動植物としてトノサマガエル、カワムツ、アブラボテ、ドンコ、ヤマサナエ、ヌマエビ、カワニナ、シャジクモ、イチョウウキゴケ、アブノメなど多種多様な種がそれぞれ確認された。このうち、重要な種として、環境省RL、福井県RDBに指定されているトノサマガエル、アブラボテ、シャジクモ、イチョウウキゴケ、アブノメが確認されている。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要 旨

老朽化の著しい用水路・排水路を排水フリューム・管水路にて改修することで、維持管理労力の軽減、排水機能向上させ、農地の汎用化を促進することで、安定した農業経営を確立する。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農業用用排水施設										計	備考	
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	
用水改良	42.4	—	—	—	—	42.4						42.4	
排水改良	23.8	—	—	—	—	23.8						23.8	
計	66.2	—	—	—	—	66.2	—	—	—	—	—	66.2	

## 第2節 営農計画及び土地利用計画

### 1. 営農計画の概要

優良農地の保全と効率的な土地利用集積を積極的に促進し、収益性の高い作物の作付け拡大と大規模経営の推進や生産コストの低減により、農業経営の安定を図り、継続的な農業生産体制を構築していく。

#### 2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	備考
		現況	計画	現況	計画	現況	計画	現況	計画	現況	計画	現況	計画
農業用用排水施設	現況	66.2	—	—	—	—	—	66.2	—	—	—	66.2	
	計画	66.2	—	—	—	—	—	66.2	—	—	—	66.2	
	現況												
	計画												
計	現況	66.2	—	—	—	—	—	66.2	—	—	—	66.2	
	計画	66.2	—	—	—	—	—	66.2	—	—	—	66.2	

### 3. 作付方式

(第 9 表-2)

#### 4. 生産計画

(第 9 表-3)

※表内の作付面積は、本地率を考慮した値である。

## 5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
農業用排水分施設	畑利用	田	水 稲	59.2	人 力	17.3	17.3	—
					機 械	3.6	3.6	—
		大 麦		3.5	人 力	5.3	5.3	—
					機 械	2.4	2.4	—
		な す		0.2	人 力	328.5	328.5	—
					機 械	4.8	4.8	—
		そ ば		3.5	人 力	4.4	4.4	—
					機 械	2.1	2.1	—
					人 力			
					機 械			
合 計				66.4				

※表内の作付面積は、本地率を考慮した値である。

## 6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

土地利用区分	級地名	区分	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合計
			一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田												
	輪換耕地												
	畑												
	(普通畑)					該当事項なし							
	(牧草畑)												
	樹園地												
	(桑園)												
その他													
計													

## 7. 土地配分計画

(第9表-6)

区分	項目 配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)									備考	
		田	輪換耕地	畑					計			
				普通畑	牧草畑	樹園地						
増反		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
入植		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		

### 第3節 用水計画

#### 1. 計画基準年

計画基準年……………令和1年

福井地方気象台小浜観測所（観測期間：平成5年～令和4年〔30年間〕）

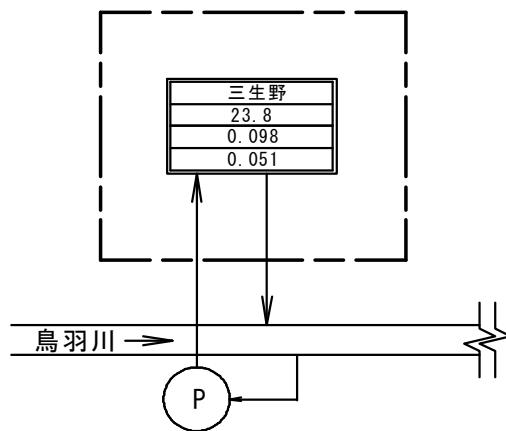
#### 2. 計画かんがい方式

かんがい方式……………自然圧パイプラインかんがい

かんがい期間……………4月1日～9月30日

#### 3. 計画用水系統

##### 【事業範囲】若狭第2地区



##### 凡例

(イ) 地区内	(イ) 系統名
(ロ)	(ロ) 受益面積 (ha)
代播期	(ハ) 代播期必要水量 (m³/s)
普通期	(二) 普通期必要水量 (m³/s)
(ホ)	(ホ) 流域面積 (ha)
代播期	(ヘ) 代播期利用可能量 (m³/s)
普通期	(ト) 普通期利用可能量 (m³/s)

## 4. 計画用水量

## (1) かんがい用水

系統名	項目 種別	面 積 (ha)		水田かんがい			水田畑利用			畠地かんがい		
		事業名		普通期	代搔期	面 積 (ha)	一日当たり計画平均灌水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面 積 (ha)	一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面 積 (ha)
		農業用排水	計	計画平均単位用水量 (mm/日)	計画代搔単位用水量 (mm/日)							
三生野用水	用水	23.8		23.8	22	150	12.5	4	3	11.3	—	—
計(全体)		23.8		23.8			12.5			11.3		

(第10表-1-1)

その他		消費水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
計画平均単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m³/s)	最大 (m³/s)	
—	—	0.089	10	0.051	0.098	
		0.089		0.051	0.098	

区分	利用目的	対象面積 (ha)		日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考			
		事業名		単位給水量 (m³/日)	最大給水量 (m³/日)						
			計								
		該 当 事 項 な し									

## 5. 水源計画

## (1) 水利用計画

項目 区分	消費 水 量	有効 雨 量	純用 水 量	粗用 水 量	現況利用可能水量			不足 水 量	水 源 依 存 量	水 源 工 種	備 考
					水 源 名	取 水 地 点 利 用 可 能 量	圃 場 利 用 可 能 量				
	a (千m³)	b (千m³)	c=a-b (千m³)	d=c/(1-a) (千m³)	e (千m³)	f (千m³)	g=c-f (千m³)	h=d-e (千m³)	i (千m³)		損失率 α
					該 当 事 項 な し						
計											

## (2) 用水対策

## (ア) 貯水池

貯水池名	流域面積 (km²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m³/s)	備考					
	事業名														
	直接	間接		計											
			該 当 事 項 な し												

## (イ) 井堰及び自然取入口

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m³/s)	渴水量 (m³/s)	備考			
			事業名								
				計							
			該 当 事 項 な し								
計											

## (ウ) 揚水機

項目 名称	水源名	かんがい面積(ha)			所要水量(m³/s)	揚水機				備考		
		事業名										
		最大	平均			実揚程 (m)	揚水量 (m³/s)	台数	全揚水量 (m³/s)			
			該 当 事 項 な し									
計												

## (エ) 用水路

項目 名称	かんがい面積(ha)			最大 通水量 (m³/s)	延長 (km)	構造		備考			
	事業名										
		計									
			該 当 事 項 な し								

## (オ) その他の水源施設

該 当 事 項 な し

## (3) 水質水温

(第10表-7)

時 間 別	かんがい面積	水 温		水 質	被 害 量	備 考
		最 高	最 低			
		該 当 事 項	な し			

## 第4節 排水計画

## 1. 計画基準雨量

観測期間 ・・・ 福井地方気象台小浜観測所 S54年～R6年 (46年間)

確率日雨量 ・・・  $1/2 = 96.6 \text{ mm/日}$   
 $1/10 = 167.3 \text{ mm/日}$ 

単位排水量 ・・・ 【4時間雨量4時間排除】

1/2 平地	:	1.23	宅地	:	2.05	山地	:	2.05 $\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$
1/10 平地	:	2.13	宅地	:	3.56	山地	:	3.56 $\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$

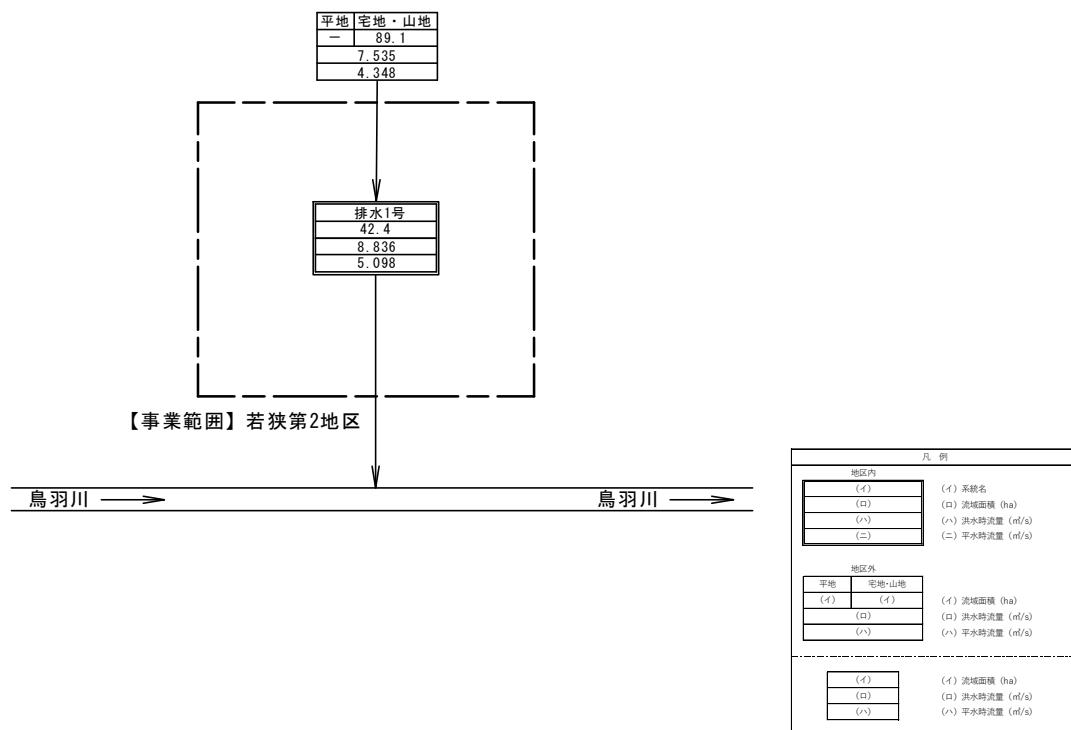
【合理式】

1/2 平地	:	2.46	宅地	:	4.11	山地	:	4.11 $\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$
1/10 平地	:	4.27	宅地	:	7.12	山地	:	7.12 $\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$

## 2. 計画排水方式

自然排水

## 3. 計画排水系統



## 4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水 系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (ha)			基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m³/s/km²)			基底流出 量 (m³/s/km²)			全排水量 (m³/s)			単位排水量 (m³/s/ha)			
	事業名																			
	用排水		計	平地	宅地	山地		平地	宅地	山地	平地	山地	平地	宅地	山地	平地	宅地	山地		
排水1号	42.4		42.4	49.7	30.3	64.0	Q=167.3	【合理式】 [平地] 平水(1/2)=2.46 洪水(1/10)=4.27 [宅地・山地] 平水(1/2)=4.11 洪水(1/10)=7.12			-	-	2.122	2.157	4.557	0.043	0.071	0.071		
							Q=96.6	【4時間雨量】 [平地] 平水(1/2)=1.23 洪水(1/10)=2.13 [宅地・山地] 平水(1/2)=2.05 洪水(1/10)=3.56												
合計	42.4		42.4	49.7	30.3	64.0									2.122	2.157	4.557			

## 5. 排水対策

## (1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha)			計画			排水本川			備考	
		事業名			排水量 (m³/s)	地区内たん水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)			
			計	該 当 事 項					な し			

## (2) 排水機

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha)			排水本川			備考	
		事業名			排水量 (m³/s)	地区内たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m³/s)	
			計	該 当 事 項					

## (3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha)			計画 排水量 (m³/s)	延長 (km)	構 造	排水本川			備考				
		事業名						名 称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)					
		用排水		計											
末端排水路	1.440	42.4		42.4	8.836	0.2	HF-1000×2300 ～1300×2600	鳥羽川	—	—					
計	1.440	42.4		42.4	8.836	0.2									

## (4) その他の

該 当 事 項 な し

## 6. たん水検討

該 当 事 項 な し

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第12表-1)

項目 路線名	幅 (有効) × 延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
		該 当 事 項	な し	
計				

(2) 索 道

(第12表-2)

項目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考
		該 当 事 項	な し	

2. 路線配置図

該 当 事 項 な し

## 第6節 農用地造成計画

### 1. 農用地造成計画

#### (1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜		耕地の形態	標準区画の形状	備考
		該	当事項			
		該	当事項	な	し	

#### (2) 末端道水路配置図

該 当 事 項 な し

### 2. 土壤改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壤 統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	h a 当たり所要量			備考
			H <sub>2</sub> O	KCl			石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	
			該	当事項	な	し				

## 第7節 洪水調節計画

### 1. 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

### 2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水到達 時間 (hr)	計画 洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全 洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要 調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節後 流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後 の最大 流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	最大 調節量 (m <sup>3</sup> /s)
			該	当事項	な	し				

### 3. 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km <sup>2</sup> )		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量(千m <sup>3</sup> )			計画調節 流量(m <sup>3</sup> /s)	可能調節 流量(m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
			該	当事項	な	し			

#### 4. 洪水調節検討

##### (1) 河川改修計画との関係

該 当 事 項 な し

##### (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該 当 事 項 な し

##### (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該 当 事 項 な し

#### 5. 管理計画

##### (1) 管理機構

該 当 事 項 な し

##### (2) ダム管理操作上の各種基準

該 当 事 項 な し

##### (3) 洪水調節要領

該 当 事 項 な し

#### 第8節 干拓計画

(第15表)

項 目 名 称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (hPa)	備 考
		該 当 事 項 な し				

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
該当事項なし					
計 · · · · ·					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備考
	該当事項なし			

(3) 末端道水路配置図

該当事項なし

## 2. 暗渠排水

## (1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	項目面積(ha)			土壤統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (m³/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備考						
	事業名														
	区画整理		計												
				該当事項なし											
計															

## (2) 心土破碎

(第16表-3-2)

区分	項目面積(ha)			土壤統(区)名	土壤硬度	備考				
	事業名									
			計							
				該当事項なし						
計										

## 3. 客土

(第16表-4)

区分	項目面積(ha)			土壤統(区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m³)	土壤の性質 受益地 (客土材料)	備考	
	事業名				現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均				
			計									
				該当事項なし								
計												

## 4. 農地保全

## (1) 防災林

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考	
					該当事項なし	

## (2) 排水工

(第16表-5-2)

名称	項目 基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m³/s/ha)	全排水量 (m³/s)	
		該当事項なし				

## (3) 侵食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

施設名	項目 位置	支配面積 (ha)	機能	備考	
				該当事項なし	

第10節 老朽たぬ池改修計画

1. 洪水吐改修計画  
(1) 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

(2) 計画洪水量

該 当 事 項 な し

2. 堤体補強計画

該 当 事 項 な し

3. 取水施設改修計画

該 当 事 項 な し

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )		位置	貯水量 (千m <sup>3</sup> )				備考
	型式	直接		堤高 (m)	堤長 (m)	提体積 (千m <sup>3</sup> )	基礎地盤 地質	
堤体	該当	事項	な	し				
洪水吐	型式		洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	取水施設	型式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	型式
								放流量 (m <sup>3</sup> /s)

2. 頭首工

(第17表-2)

名 称	位 置			備 考		
	提 高 (m)	提 長 (m)				
		固 定 部	可 動 部	計		
		該当	事項	な	し	

3. 揚水機

(第17表-3)

項 目 名 称	位 置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚 程 (m)		揚 水 機		原 動 機		備 考
			全揚程	実揚程	型 式	口径 (mm)	台数 (台)	型 式	
		該当	事項	な	し				

4. 用水路

(第17表-4)

項 目 水路名	かんがい面積(ha)			通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考					
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計									
	区画整理		計													
三生野	23.8		23.8	0.098	—	0.02	0.02	鋼管 SGP $\phi$ 350	—	—						
計	23.8		23.8	0.098	—	0.0	0.0									

5. その他かんがい施設

該当事項なし

## 第2節 排水施設

### 1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
		該 当 事 項 な し					
計							

### 2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kw)	台数 (台)	
			該 当 事 項 な し								
計											

### 3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考					
	事業名				開きよ	トンネル	計									
	用排水		計													
末端排水路	42.4		42.4	8.836	0.24	—	0.24	HF-1000× 2300 ～1300×2600	1/500	取付水路						
計	42.4		42.4	8.836	0.2	—	0.2									

### 4. その他排水施設

該 当 事 項 な し

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構 造	付 带 構 造 物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
			該 当 事 項	な し						
計										

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考	
					形 式	動 力
		該 当 事 項	な し			

2. 索道

(第19表-3)

項目 名 称	延長 (m)	高低差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				形 式	動 力	
		該 当 事 項	な し			

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根

(第20表-1)

項目 区分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考	
						該 当 事 項	な し
計							

(2) 除 碓

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考	
					該 当 事 項	な し
計						

## (3) 開墾作業

(第20表-3)

項目 区分		面 積	工 法	備 考
地 目	造成工法	(ha)		
		該 当	事 項 な し	
計				

## (4) 地目変換

(第20表-4)

項目 区分		面 積	工 法	備 考
地 目	造成工法	(ha)		
		該 当	事 項 な し	
計				

## (5) 末端用水路等

(第20表-5)

項目 区分		数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し		
計					

## (6) 末端排水路等

(第20表-6)

項目 区分		数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し		
計					

## 2. 土壤改良

(第20表-7)

項目 区分		面 積	石 灰 量	りん酸質資材量	有機質資材量	備 考
地 目	造成工法	(ha)	(t)	(t)	(t)	
		該 当	事 項 な し			
計						

第5節 洪水調節施設  
1. 貯水池

該 当 事 項 な し

2. 頭首工及び導水路  
(1) 頭首工

(第21表-2)

名称	位置			計画洪水位 (m)	付帯施設	備 考
	堤長 (m)		固定部	可動部	計	
型式	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	該 当	事 項	な し	

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他の	計			
		該 当	事 項	な し			

第6節 干拓施設  
1. 堤 防

(第22表-1)

項目 名 称	型 式	延長 (m)	構 造				原地盤標高 (m)	備 考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面		
		該 当	事 項	な し				

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名 称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考
		該 当	事 項	な し			

3. 付属施設

該 当 事 項 な し

## 4. 埋立

(第22表-3)

項目区分	面積(ha)	埋立標高(m)	埋立土量(m <sup>3</sup> )	施工方法	備考
		該 当	事 項 な	し	

## 第7節 農用地整備施設

## 1. 区画整理

## (1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積(ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m <sup>3</sup> )	面積(ha)	土量(m <sup>3</sup> )	
全区		該 当	事 項 な	し		
計	0.0					

## (2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目区分	数量	規模	構造	備考
		該 当	事 項 な	し
計				

## (3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目区分	数量	規模	構造	備考
		該 当	事 項 な	し
計				

## 2. 暗渠排水

## (1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目区分	面積(ha)		集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名		勾配	管種	管径(mm)	延長(m/ha)	勾配	管種	管径(mm)	深さ(m)	間隔(mm)	延長(m/ha)	名称	構造	数量(m/ha)	
		計														
			該 当	事 項 な	し											
計																

## (2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	該 当 事 項	な し			
計					

## 3. 客 土

(第23表-5)

項目 区分	面 積 (ha)			客入土量 (m³)	土取場土量 (m³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考					
	事 業 名												
			計										
	該 当 事 項	な し											
計													

## 4. 除 磯

(第23表-6)

項目 区分	対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	該 当 事 項	な し			
計					

## 5. 農地保全

## (1) 防風林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
	該 当 事 項	な し				
計						

## (2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延 長 (m)	流 量 (m³/s)	構 造	備 考
	該 当 事 項	な し		
計				

## (3) 侵食防止工

(第23表-9)

項目 名称	構 造	数 量	備 考
	該 当 事 項	な し	
計			

## 第8節 老朽ため池改修施設

## 1. 貯水池

(第24表)

名 称					位 置			備 考		
堤 体	型 式	流 域 (km <sup>2</sup> )	堤 高 ( m )	堤 長 ( m )	該 当 事 項	堤 体 積 ( m <sup>3</sup> )	堤 頂 幅 ( m )	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )	備 考	
						な	し			
洪 水 吐	型 式	排 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	規 模 ( m )	備 考	取 水 設 備	型 式	取 水 量 ( m <sup>3</sup> /s )	備 考		

## 2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該 当 事 項 な し

(2) 漏水防止工

該 当 事 項 な し

## 第6章 附帯工事計画

該 当 事 項 な し

## 第7章 工事の着手及び完了の予定期

換 地 区	着 手	完 了 予 定	備 考
全区	令和 8 年度	令和 11 年度	

## 第8章 環境との調和への配慮

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

第9章 換地計画の概要  
第1節 換地計画を作成するまでの基本的な考え方

該当事項なし

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積(ha)
	該当事項なし	

2. 換地区を設定する理由

該当事項なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
	該当事項なし

## 2. 用途別予定地積

(单位 : ha) (第 25 表 - 3)

## 3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方針		
		位置の選択方法	1戸当たりの目標団地数	区画畠畔の取扱い
		該当事項なし		

## 4. 非農用地の換地方法

(第25表-5)

換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m <sup>2</sup> )	換地の手法	換地取得予定者	その他
		該当事項なし				

## 第4節 土地の評価及び清算の方法

## 1. 評 価 の 方 法

標準地比準方式

## 2. 清 算 の 方 法

比例地積清算方式

## 第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区 分 換地区名	一 時 利 用 地 の 指 定 予 定 年 度	換 地 計 画 の 決 定 予 定 年 度	換 地 处 分 予 定 年 度	備 考
		該当事項なし		

該当事項なし

事業名 区分	農業用用排水施設 (単位:千円)	備考
用 水 路 工	92,000	令和 7 年度単価
排 水 路 工	88,400	
小 計	180,400	
測 量 試 験 費	28,840	
用 地 補 償 費	2,000	
小 計	30,840	
計	211,240	
地 方 事 務 費	—	
総 事 業 費	211,240	
関連事業 (参考)		

第11章 効用

(第27表)

事業名	区分	項目		備考
		年增加見込効果額 (千円)	年增加見込所得額 (千円)	
農業用排水施設	食料の安定供給の確保に関する効果	23,129	1,162	
	作物生産効果	17,388	—	
	営農経費節減効果	4,899	—	
	維持管理費節減効果	842	1,162	
	農村の持続的発展に関する効果	—	—	
	農村の振興に関する効果	—	—	
	多面的機能の發揮に関する効果	183	—	
	景観・環境保全効果	183	—	
	その他効果	3,143	—	
	国産農産物安定供給効果	3,143	—	
	計	26,455	1,162	令和7年度単価

(参考)

總費用(現在価値化) : 455,625 千円

總便益額(現在価値化) : 539,400 千円

總費用 總便益比 : 1.18  $\geq 1.00$

總 所 得 償 還 率 : 17.7 % ≤ 20 %

增加所得償還率： $= \% \leq 40\%$

第12章 関連する事業

(第 28 表)

第13章 現況・計画図面

上・計 画

別途添付  
1 計画平面図